

◎ 第11回年次大会オンラインイベントを開催しました

当研究会では年1回年次大会を開催しています。今年は9月5日（土）京都府で開催します。年次大会に先立ち、5月26日（火）にオンラインにてイベントを開催しました。イベント当日には61名の申込がありました。

共同大会長の西川 満則 先生（老人保健施設相生）を座長に、同じく共同大会長の福村 雄一先生（司法書士福村事務所）を講師に開催しました。

福村 雄一先生には「20年後の未来から考える日本のACP～お金のACPと身寄りなし問題を中心として～」と題して、司法書士が関与するライフステージ毎の法律を使った仕組み作りや2040年問題と社会福祉法改正による影響などについてお話をいただきました。

アンケート結果（当イベントについて）

・老健で相談員をしています。入所前後で成年後見人や身元保証人に入所者様のことを聞くのですが、今回の入院を機に関わっただけなので何も分かりませんと言われることが多く、身寄りのない方を知ることが難しく歯痒さを感じていました。制度の改正など直接業務に関わりがないときちんと理解できていなかったことをわかりやすく説明頂いたので今後どのように変化していくのか、問題が起こる可能性があることを知れてとても良かったです。

・身寄りのない高齢者の方への支援に関する最新の法制度の動向なども知ることができ、大変勉強になりました。司法書士の福村先生をはじめ、様々な職種の方が参加してディスカッションが展開されている様子であったことも良かったです。

・問題点を深掘した内容で、とても聞き応えがありました。

・MSWとして地域柄身寄りがいない方の支援やお金の問題が課題としてあります。その中で、お話の中にもありました入院期間内に成年後見制度の調整等が難しいという状況もあります。また、状態が思わしくない状況でご入院された際の死後についての調整に難航したこともありました。ACPも含めですが、今回の研修の中でそのような状況になる前に地域でどのように取り組んでいくのか、今後の社会情勢についても触れられており大変勉強になりました。

・最近、身寄りのない方の対応や、金銭的に問題のある方の対応が増えました。看護よりお金の相談を受ける事も多く、ACPをすすめる上で、本当にお金の話が重要だと痛感しています。今回の内容は、大変参考になりました。

・身寄りのない方、身寄りがいても関係性が希薄...ということが増えていくなかで、どのような制度が使えるのか知ることができてよかったです。

アンケート結果（当研究会の活動について）

・ACPについて知識を深めたく今回視聴しました。退院支援にも関わる事なので視聴してよかったです。ありがとうございました。

家庭の事情もあり、なかなか現地での研究大会に参加することが難しいため、このような形でオンラインイベントを企画して下さったり、大会当日のプログラムをオンデマンドで配信していただけて、大変ありがたく感じています。

・当院でのACPの普及に際して、職員一同大変お世話になっています。ありがとうございます。

・今回の研修でも感じましたが、この研究会ではどんな職種、立場の方も、ざっくばらんに本音で意見を言えるような雰囲気があり、それが良い議論につながってるかと思えます。

・具体的な支援に繋がる活動で理解しやすいと感じました。

・参加しやすい雰囲気（皆様の温かいお人柄のせいでしょうか、、、）なので、とてもありがたいなあと思っております。

◎年次大会は京都府で9月5日(土)開催

今年の年次大会(第11回)は9月5日(土)京都府のQUESTION(京都信用金庫)を会場で開催します。当日現地参加(会場の都合上、200名程度の予定)と後日オンデマンドの受付を行う予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。

https://jacra.umin.jp/acp_meeting11/index.html



■ プログラム公開中

- 講演1. 「2040年の日本の社会構造から考えるACP」
講師 会田 薫子(東京大学 大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授)
- 京都発・地域共生ライブセッション
「京都の町で、あなたらしく生ききることを支える～京都 ACP 研究会 12年の軌跡から紐解く、「送りたい未来」を共に創る多職種・当事者ダイアログ～」
コーディネーター 宇都宮 宏子(在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス)
- シンポジウム1. 「急性期の現場でACPは途切れてしまうのか」
～かかりつけ病院内科医、急性期専門医、弁護士が語るTime Limited Trialの可能性と限界～
シンポジスト 菅野 康夫(一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 循環器内科部長 兼 集中治療センター部長)
福田 直之(札幌総合法律事務所)
澤田 格(社会医療法人恵和会 西岡病院 内科部長)
座長 岡村 紀宏(当研究会事務局/社会医療法人恵和会 西岡病院)
- シンポジウム2. 「政策の視点から見るACPと地域づくり」
シンポジスト 福村 雄一(司法書士法人福村事務所)
植野 剛(京都大学大学院)
- シンポジウム3. 2040年の日本の地域づくりについて
シンポジスト 阿部 智介(医療法人慈孝会七山診療所 所長)
平山 司樹(訪問看護ステーション葛西)
鈴木 孝英(合同会社ながら事業計画)
横江 由里子(訪問看護ステーション管理者)

■ 演題発表募集中

7月31日〆切にて演題発表を募集しています(以下、大会長の西川 満則 先生からのメッセージです)。
— 当たり前事例から、ACPの本質を問い直す —

本大会では、日常診療・ケアの中で実践されているACPの「事例発表」を最も重視しています。

特別な事例である必要はありません。むしろ、日々の現場で出会う“当たり前事例”の中にこそ、多くの示唆や学びが含まれていると考えています。

一つひとつの事例に込められた意思決定の過程や関わりの積み重ねを、ぜひ共有してください。

また、地域・施設・病院での取り組みをまとめた「活動報告」も歓迎いたします。

なお、倫理審査を経た調査研究・実装研究などの一般演題のご発表も歓迎いたします。

詳細はホームページをご確認ください。

■ 参加登録受付中

対面参加(+後日オンデマンド)のほか、当日現地に来ることができない方のために後日オンデマンドの申し込み方法も可能です。



一般社団法人
日本アドバンス・ケア・プランニング研究会
The Japanese Association for Clinical Research on Advance Care Planning

【事務局】

〒062-0034 北海道札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52
西岡病院内(担当 岡村 紀宏)

☎ 011-853-8322

E-mail: acp.study.group@gmail.com



ホームページ



Face Book